

専門日本語研修（文化・学術専門家）【公募プログラム】

特定の専門業務および研究活動を円滑に遂行するうえで日本語能力を必要とする専門家（研究者、大学院生、図書館司書、博物館・美術館学芸員等）の日本語学習を支援するため、各専門業務の特色に配慮したカリキュラムにより、実用的な日本語能力を身につける研修を実施します。

この研修の目的は研究活動に役立つ日本語を集中的に学ぶことであり、各専門分野の教育は行われません。

◆ 研修期間／採用予定人数

年間 2 回コースが実施されます。

• 2 か月コース：毎年 6 月-8 月／12 名程度 ※2022 年度：2023 年 1 月-3 月

• 5 か月コース：毎年 7 月-12 月／12 名程度

※2020 年度より 6 か月コースは 5 か月コースへ変更

採用実績（2019 年度～2020 年度）

国・地域	2019 年度		2020 年度	2021 年度	3 年計
	2 ヶ月	6 ヶ月	オンライン	オンライン	
韓国		2	1		3
中国			2	1	3
台湾		1	2		3
モンゴル	1				1
インドネシア			1		1
フィリピン				1	1
ベトナム		1			1
オーストラリア	1	1	1		3
カナダ				1	1
米国	4		2	3	9
ブラジル		1		2	3
イタリア		2			2
英国			2	2	4
オランダ			2		2
ドイツ		1			1
ウクライナ	1				1
カザフスタン	1				1
ハンガリー		1	2		3
ロシア	1				1
エジプト			1		1
計	9	10	16	10	45

◆ 募集対象者

海外に在住し、日本をその対象に含む社会科学・人文科学系分野の研究者、博士・修士課程の大学院生、司書、学芸員等

◆ 応募方法

応募方法の詳細は「国際交流基金ウェブサイト」をご覧ください。

・[国際交流基金ウェブサイト](https://www.jpf.go.jp/j/program/japanese.html#jp_7) https://www.jpf.go.jp/j/program/japanese.html#jp_7

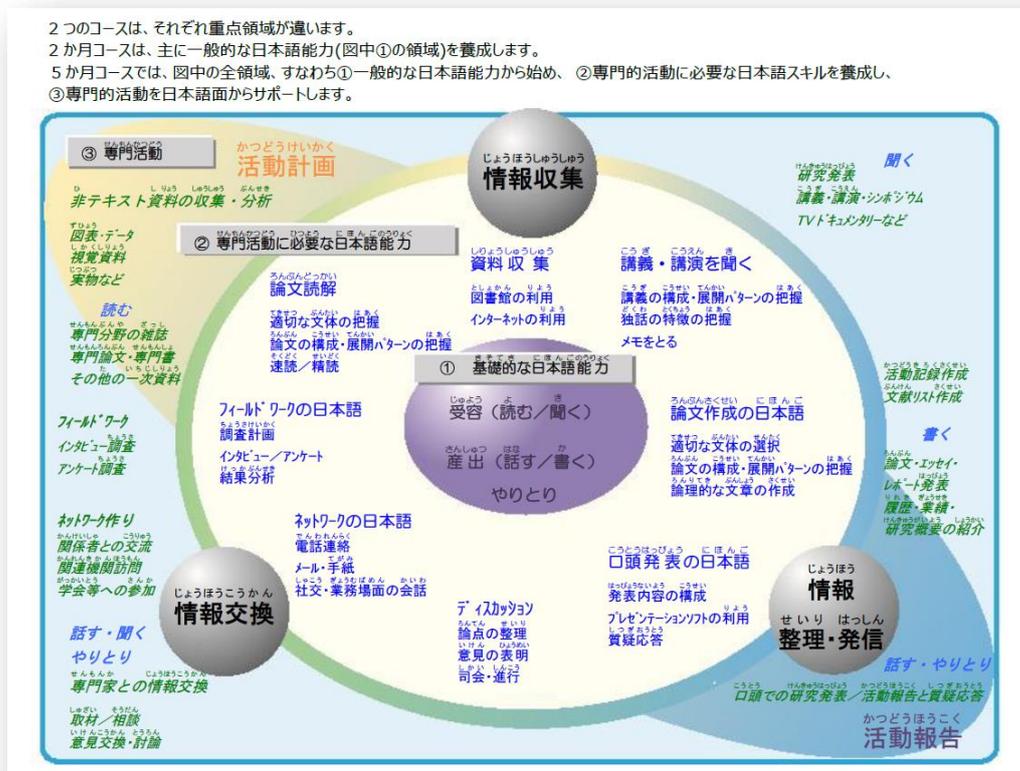
・問い合わせ先：国際交流基金関西国際センター教育事業チーム

TEL: 072-490-2601

FAX: 072-490-2801

E-mail: jpf-kansai@jpf.go.jp

◆ 研修コンセプトデザイン



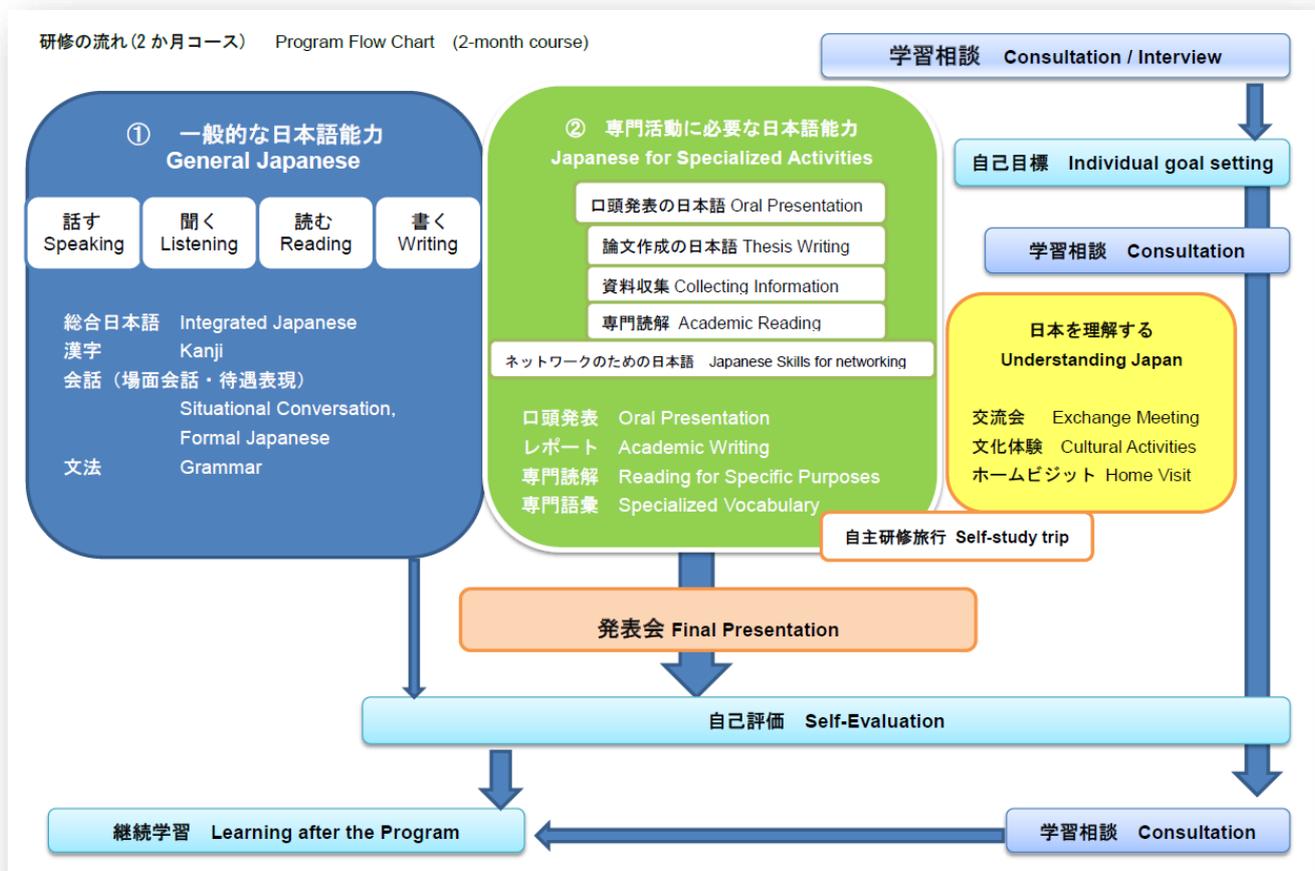
◆ 専門日本語研修（文化・学術専門家）（2か月コース）

● 研修内容

2か月コースの日本語授業では、主に一般的な日本語能力に焦点を当て、レベルに応じて「話す」「聞く」「読む」「書く」の各能力の向上を図ります。また、個々の専門業務や研究活動を遂行するうえで役立つ日本語の習得を目指します。

2か月コースには、日本語授業のほかに、日本社会への理解を深めるため、地域社会との交流や研修旅行等のプログラムがあります。2か月コースには5か月コースのような「専門活動（研究活動）集中期間」はありませんが、資料を収集する、専門家と面談するなどの研究活動は、授業のない日や空き時間を利用して自主的に行うことができます。原則として日本語授業を欠席することはできません。

● 研修の流れ



時間割例

	月	火	水	木	金
1 (9:00-9:50)	総合日本語/アカデミック文法		総合日本語		文化社会体験 /自主研究
2 (10:00-10:50)					
3 (11:00-11:50)	漢字・漢字語彙	会話	漢字・漢字語彙	会話	
4 (13:20-14:10)	漢字語彙練習	発表	連絡会	発表	
5 (14:20-15:10)	コンピュータ		にほんごカフェ		
6 (15:20-16:10)	ICT	専門読解/ レポート作成支援	専門読解/ レポート作成支援		

: 必修科目

「総合日本語」と、「発表」は必修科目です。研修の最後にある「最終発表会」で、研修の成果を日本語で発表します。「最終発表会」では、パワーポイントを作成し、10分程度の口頭発表を行います。

◆ 専門日本語研修（文化・学術専門家）（5か月コース）

● 研修内容

5か月コースの日本語授業では、主に研究活動や業務の遂行に必要な日本語能力に焦点を当て、情報収集や発信および関係者との交流等に必要な日本語能力を習得することを目的とします。また、業務関連機関や研究機関への訪問、専門家との面談等の研究実践を通して実用的な日本語能力を養います。

5か月コースは、日本社会への理解を深めるため、地域社会との交流や研修旅行、研修参加者の専門分野に関連した機関訪問等もプログラムなどがありますが、さらに2週間程度の「専門活動（研究活動）集中期間」があります。その期間には資料を収集したり、専門家と面談したりなどの研究活動を集中的に行うことができます。専門活動（研究活動）はチューターと相談しながら行いますが、研修参加者は明確な研究テーマまたは活動テーマを持ち、センター外での専門関連の活動を企画立案し実行する自立性・積極性を持つことが求められます。日本語授業を欠席することはできません。

● 研修の流れ

5か月コース研修の流れ		前期			後期		
		日本語能力の基礎作り			専門活動と日本語研修の総括としての発信活動		
		専門活動のための日本語学習			日本でのネットワーク作り		
		7月	8月	9月	10月	11月	12月
日本語	必修科目	総合日本語発表 発表			総合日本語発表 発表		
	選択科目	漢字・漢字語彙 会話&インタビュー コンピュータ など			漢字・漢字語彙 ぶんしょうひょうげん 文章表現 せんもんどっかい 専門読解 など		
	発信活動	専門活動計画書&報告書 語彙リスト			専門活動計画書&報告書 最終発表会		
		学習相談			個別授業		
専門活動支援	専門活動への支援	経費支援「専門活動支援経費」：専門活動のための外出への補助					
文化社会	芸術鑑賞 文化体験	文楽鑑賞 文化体験①② 国立国会図書館関西館 国際日本文化研究センター			文化体験③ 能と狂言の会 小学校訪問 など		
プログラム	生活体験 交流	ホームビジット			会話パートナー		

時間割例（前期）

	月	火	水	木	金
1 (9:00-9:50)	総合日本語				学習相談 / 社会・文化体験 / 自主研究
2 (10:00-10:50)					
3 (11:00-11:50)	漢字・漢字語彙	漢字・漢字語彙	連絡会	漢字・漢字語彙	
4 (13:20-14:10)	会話&インタビュー —	発表	専門活動準備	にほんごカフェ	
5 (14:20-15:10)			コンピュータ	専門読解	
6 (15:20-16:10)				専門読解	

時間割例（後期）

	月	火	水	木	金
1 (9:00-9:50)	総合日本語				社会・文化体験 / 自主研究
2 (10:00-10:50)					
3 (11:00-11:50)	漢字・漢字語彙	漢字・漢字語彙	連絡会	漢字・漢字語彙	
4 (13:20-14:10)	専門読解/ 個別授業	文章表現	発表	個別授業/ 自主研究	
5 (14:20-15:10)				専門読解/ 個別授業	

: 必修科目

研修の最後には、5か月間で行った集中的な日本語学習および専門活動の成果として、自身の研究テーマあるいは専門業務について口頭発表やレポートで報告する「最終発表会」を日本語で行います。「最終発表会」では、口頭発表を行う場合はパワーポイントを作成し、情報を整理して発表することを目指します。レポートを記述する場合は、適切な文体で論理的に展開することを目指します。このような発信活動を通じて、自身の研究テーマや専門業務について論理的に説明できるようになる力を養成します。